



平成29年9月1日発行

〒358-0003

入間市豊岡1-15-1

埼玉県立豊岡高等学校

同窓会 会報編集委員会

私は、東京などに激しい空襲が続く昭和二十年四月、豊岡町を始め近郊市町村から集つた百二十人の仲間とともに、旧制（五年制）の豊岡實業学校に入学しました。喜びと期待に胸躍らせたのも束の間、戦時の色濃い学校は、農業実習などの授業に重点が置かれたものだったと記憶しています。そして四ヶ月後には日本の降伏によつて戦争は終わり、戦後と呼ばれる時代がスタートしました。日本は有史以来初めて被占領国となりましたが、連合国軍による占領統治は昭和二十七年で終わり、この間政治経済を始め社会の仕組みは百八十度転換して、民主主義国家の制度が動き出しました。新憲法により諸制度の改革が

行われる中で、昭和二十二年四月には、六・三・三・四制の新しい教育制度が始まりました。小六、中三の義務教育化と高三、大四の学校体制となつたことにより、私達の学年には、併設中学校の新制度が適用されました。このため、中学、高校の何れかでの勉学も可となつたため、親しくなつた三十人の友が中学卒業を選択し、残つた者は三年後の昭和二十六年、高校第三回の卒業生となりました。短期間に体験した「戦争と平和」のギャップや新教育制度は、静かな学び舎に混乱をもたらし、五年制の学校に入学した筈の同学年生が志半ばで別れなければならなかつたのは、本当に残念なことでした。校歌の一節に



母校の一歎コマ

同窓会長 木下 博

「五年」とあつたものが「三年」と改められましたが、私達の学年は「六年」を心の校歌としている者も多いと思います。何れにせよ、困難な時代でも道を誤らず生き抜くことができたのは、質実剛健の校風のもとに時代の流れに順応し、実業に生きる大切さをご指導いただいた諸先生方のご努力の賜物と感謝しています。そして今もなお青春を語れる友の在ることが、私の人生に勇気と希望を与えてくれています。そして今もなお青春を語ることを嬉しく思い、誇りにもうけることを嬉しく思っています。三年後に百周年を迎える豊高が豊かな教育環境の中で、平和な日本のための有為の人材育成の場となり続けることを祈ります。豊高よ、永遠なれ。

同窓会報『出藍』 10号記念特集

わたしたち 同窓生の想い

入学当初の思い出

本多津弥子

(旧姓 清水)

豊岡高校同窓会報『出藍』は、平成二十二年三月十日発行の第一号以来、同窓生の皆様に支えながら号数を重ね、本号で第十号となりました。これを記念して、昭和から平成に至る各年代の卒業生に対し、在学時代の想い出や本会報への感想、間もなく百周年を迎える母校 豊岡高校への期待など、それぞれの「想い」を取りました。

三豊会談義

小暮 信至

證券の両社に合格者の進路について当校教師の相談を受けたが指定校継続を守る為にも是非共当行へと勧誘し山一證券は

三豊会とは、当校卒業後三井銀行へ就職した者の所謂O・B会で、昭和十年卒業就職の大先輩から以後八十余年五十名程の定年退職者の親睦会である。会名と世話人だけでも長はなく、年長者を中心永年継続され、今日迄毎月定期懇親会を催している。

(昭16卒)



昭和10年代の豊岡實業学校
校舎と講堂

豊実に入り豊高で出る

宇佐美日出夫

(旧姓 吉川)

不安と希望を胸に商業科に入学した私を待つていたものは強烈な思いもよらない連日の応援団の下に行われた校歌、応援歌の指導がありました。詩の意味も分からなく声を張り上げているのみでありますましたがお蔭で今まで

も校歌、応援歌を口ずさむことができます。

(昭31高卒)

入学時は農業科があり、今この校庭の西側あたりは梨園、その北側には畜舎がありヤギ、ヒツジ等が飼育されていました。勉強より運動を、との思いでバレー部に入部し、泥まみれになつて練習をしましたことが思い出されます。

油でピカピカに磨いた学帽をアミダに被り、学ランに身をつつみ、鞄をかかえての登校。校門近くでは可愛いお地蔵様のお出迎え。そして、私達の安全を終日見守つてくださいました。今では進学校としての母校を誇りに思い、益々のご発展をお祈り申し上げます。私は傘寿をむかえ、生涯スポーツに懸命な日々を過しております。

昭和四十年代初めごろの豊岡高校航空写真



た。顧問の斎藤先生に県大会の抽選会の帰り道、母校埼玉大学を案内していただき、学生食堂で食事をしたときは大変感激しました。

（昭40高卒）
流は今も続き、終生の友に巡り合えた、遊びを忘れよく遊んだ学校生活豊三年間でした。

（昭40高卒）

母校在学中の思い出

矢野美保子
(旧姓石田)

（昭40高卒）

私が普通科一年生の時はまだ農業科があり、色々な作物などがあつた

と思います。放課後の教室で落花生をワイワイ言ひながら食べたのを覚えています。とてもおいしかつたです。

二年生の時は東京オリンピックが開催され五輪

靈峰遠く

和田浩

靈峰遠く消えゆきて夕陽うつる入間川

青春を野球に注いだ私にとって、この校歌はあるグラウンドの埃と熱気や周りの仲間。スタンドの応援団の姿。そしてそこに混じって今は亡き父母の姿。特に母はほとんど外出しなかつたので、何故か強烈な思い出とし

今も残る豊高の思い出

西勝啓子
(旧姓久保)

のマークが空に描かれたのを教室の窓から見て感動しました。その時見た競技はホッケーでした。それから五十六年後にな

た東京でオリンピックが開催されるなんて夢のようです。

それから他の思い出として、一日のアルバイト代が三百円だったと思します。それでも嬉しくてたまらなかつたです。

（昭40高卒）

私が入学した昭和四十六年は商業科がなくなり、進学校としてスタートを切つた年でした。

二年生の時には第一回目のホールーム発表会が始まりました。私達クラスは担任のバイオリンの伴奏で合唱に決定。しか

し当日は「ギーコギーゴ」と予想外の音色にみんな笑いながら「赤とんぼ」を歌つた記憶があります。またクラスの仲間でバドミントン同好会を作り翌年には部活動として認められました。

還暦を過ぎ振り返つてみると、数々の思い出と共に今の自分を育ててくれた豊高に改めて感謝する日々です。

（昭49高卒）

豊高が与えてくれたもの

田 雜 弘 章

昭和五十年四月に入学し、伝統の野球部に入部以降、野球中心の高校生生活でした。当時百七十cm、五十八kgで細身の私は練習の厳しさから、逃げ出したい気持ちと戦う毎日でした。

そんな私が新チームでは先発投手となり、公式

戰初戦で強豪川越工業を完封！無心が生んだ奇跡でした。そんな奇跡と仲間の存在により、野球部で卒業することが出来た。このことは、私の心のささえとなっています。

今では、毎年恒例の野球部O.B会。怖かった監督、先輩と共に思い出の美酒を酌み交わしている。

(昭53高卒)

懐かしき豊高

鈴木 浩 昭

魅力的でしたが、入学後にプールが完成し、がつかりしたことは未だに忘れません。

クラブ活動では、囲碁将棋部（今は無い？）の仲間たちと囲碁・将棋以外の競技？に熱中したこ

・自宅から徒歩で通えるから（電車が嫌い）
・プールがないから（水が嫌いで泳げない）
でした。特に二点目は大

す。

(昭54高卒)



入学式の様子（昭和60年ごろ）

先生ありがとう

関 谷 浩 江

原稿執筆のお話を頂いた時、一年三組担任の橋先生のお顔が最初に浮かびました。県内の中学から集まってきた私たちをまとめたために、先生の地元、相模湖ピクニックランドハイキングを計画して下さったからです。

(昭56高卒)

生物部の思い出

川上 亜妃

(旧姓 関)

当日全員が参加できた訳ではありませんが、青空の下レクリエーション等を通して自然と打ち解けることができました。その後、クラスが一致団結して様々な行事に取り組めたのは、先生の粋な計らいのお陰です。橋先生、楽しい高校生活のスタートをありがとうございました。

『出藍』第十号の発行、おめでとうございます。約四十年前に私が豊高を選んだ理由は、
・自宅から徒歩で通えるから（電車が嫌い）
・プールがないから（水が嫌いで泳げない）
でした。特に二点目は大

す。

(昭63高卒)

早いもので、私が卒業してから三十年になるうとしています。当時、生物部は部としてギリギリの人数でしたが、とても充実した部でした。豊水橋まで行って釣りをして、魚の胃の内容物を調べたり、入間川の源流から水質調査を行ったり、綾瀬



同窓会報『出藍』発刊のいきさつ

豊岡高等学校元校長 成瀬英二

豊高生活を振り返って
斎藤寿美子
(旧姓 吉田)

私が住む新座市から、

約一時間半かけて三年間
通り続けた豊高には、本

らかにし、学校の骨格に
据える時期と考えた。

教職員と共に、PTA

の方達と共に、同窓会の

方々にも参加して頂き、

一緒に考え、学校応援団

として生徒達の育成に関

わって頂きたい。人は多

くの人に見守られながら

育つ。豊高の裾の広さは

それを可能にしてくれる。

母校在学中の思い出
須藤直央

社会の豊かさ、それに
伴う個人主義化、家庭教
育・地域の教育力の希薄
化の中で、高校は単なる
予備校としての機能だけ
が重んじられる傾向があ
る。学校の理念が、人格
形成の理想が語られない。
今こそ実学を中心として
形成された先の伝統を明
かしたのは、その「豊高」

長い歴史ある集団には
その拠つて立つ精神を確
認する時期が何度も訪れ
る。私が赴任した時の豊
高は正しくその時を感じ
た。「追い付き追い越せ」
から豊かさの時代に入り、
そこかしこに享楽的な風
潮が生まれ、青年期の子
ども達はその影響を真正
面から受けた。

人材を育てる学校だった
のか。歴史を振返れば即
座に否と言える。実学を
基礎に、勤労を重んじ、
人に貢献することを本旨
とする学校であった。

私が同窓会の皆様に同
窓会報を発刊して頂きた
かったのは、その「豊高」

精神」を具現化して、入
間地域を中心として社会
の枢要な地位で働く同窓
生の皆様にその体現して
いる精神を在校生に伝え
て頂きたいからであった。
まずは会報の形で、そし
て学校応援団として教科
の専門集団としての教職
員だけでは不足する、人
間形成に関わって頂きた
かったからである。

社会の豊かさ、それに
の絆を深め、後輩の育成
にご助力をお願いしたい。
思いだすのは、ホーム
ルーム発表会です。現在
もあるのでしょうか? クラ
ス対抗で演劇を行うと
いう、かなりユニークな
行事でした。

高校に入学していきな
り行われるため、最初は
とても戸惑いがありまし

は、始発のバスで学校に
向かい、最終のバスで家
に帰るという生活でした
が、最後まで続けられた
仲間のおかげだと思つて
います。

そして、わがままな私
を三年間ご指導ください
ました神田先生には、心
から感謝しています。あ
りがとうございました。

(平2高卒)

たが、三年生の時には口
ミオとして主役を演じる
ほど楽しみになつていま
した。今思えば、その
「いきなり」がクラス
メートと仲良くなり、ク
ラスの絆を深めるきっかけ
だつたのかなと思いま
す。

Tea Time

還暦をちょっと過ぎての 同窓会

畠
伸一

平成二十九年四月二十二日の土曜日、入間市豊岡にある茶蔵（さくら）にて、昭和四十六年入学（昭和四十九年三月卒業）の一年六組の同窓会が担任の小林総一郎先生を囲み開催されました。昭和四十六年はこの年から、三学年普通科となつた年です。小林先生の若々しさに、私たちといつたらいつ違つたのか、話題になりました。私たちには還暦をちょっと過ぎた年です。（昭49高卒）

初めて
昭和九年度に私は豊岡實業学校に入学したが、その時、数年前に豊實の前身の農学校を卒業していた兄が農業の実務に従事しており、学校の様子をたびたび話してくれた。私は通学するに際し、飯能の宮沢から武藏野鉄道（今の西武池袋線の前身）の飯能駅までまず一時間は歩いていかなければならなかつた。

茶摘み

入学し、同級生三十余名の名前がやつとわかる



卒業アルバムより（抜粋）

思い出語り

豊岡實業学校の思い出
—思いつくままに—

半田武二郎*



ようになつたころ（五月十日ごろ）、一年生はお茶摘みに参加するようになつていた。今では動力を使つての刈り取りが普通だが、私たちの茶摘みは手摘みだけで、茶芽の育ちの具合によつては二番茶まで摘み取ることがあつた。当時の豊實では、それまで茶摘みを経験したことがない者が数人いて苦労したようであつたが、私は精明小学校で一年生の時から高等科一年生までお茶摘みを経験し、賃金をいただいたこともあつたので困らなかつた。

製茶

当時、学校の二階から北の方を見ると浅間山の煙らしきものが見えることがあつた。その校舎の西寄りの道路の西側に製

茶の機械が置いてあつたように思う。私たちが手摘みをした茶葉は時間を置かず、上級生が製茶をおこなつていたが、いつも忙しそうであった。私たち三年生以下の学生は出来上がつたお茶のゴミを拾つたり、またある時はお茶を缶に詰めたり、目方を量つたりしたが、これらを整理した場所は理科室のような所だつたようだ。

また、缶に入れたお茶は百グラムか二百グラム単位であり、薄い表表紙で缶を囲つたがその作業に慣れるまでは苦労がかかつたことを記憶している。

また、缶に入れたお茶は百グラムか二百グラム単位であり、薄い表表紙で缶を囲つたがその作業に慣れるまでは苦労がかかつたことを記憶している。

(昭14實卒)

*半田 武二郎
大正9年4月生まれ。現在97歳。
豊岡實業学校卒後、埼玉師範学校に進学。その後、教職の道を歩む。在職中、召集され外地（現在のインドネシア）に送られるも戦後、無事生還し、小学校校長にて定年。飯能市岩沢在住

豊岡高校の思い出

私は1978(昭和53)年に豊岡高校に入学しました。自由と自主性を重んじる校風の中で過ごした三年間は、とても楽しくものでした。特にそれが先生方が教科に対する研究的好奇心と情熱をもって語つてくださっていた空気感を全身で感じ、自分も何か夢中なれるものをみつけたい、とういう思いを抱きました。それで卒業後はピアノを続けようと武蔵野音楽大学に進みました。

その先生方が教科に対する研究的好奇心と情熱をもって語つてくださつていた空気感を全身で感じ、自分も何か夢中なれるものをみつけたい、とういう思いを抱きました。それで卒業後はピアノを続けようと武蔵野音楽大学に進みました。

音楽にかかる「 くり！」の出来事

たが、音楽療法に対する興味は心の奥底に消えることなくずっと残つていきました。現職についていた後、音楽療法士の資格を取り、現在は、週に一度音楽療法のセッションの場をもつたり、特別支援学校などにワークショッ

「音楽は人の心や関係性を変えることができるんだ！」と、まさに雷に打たれたような衝撃を受けたことと覚えてています。当時はまだ専門的に学べる機会は

されたことでした。初期のセッションでは、泣いてばかりで他者の存在を拒んでいた自閉症児のエドワード少年が、数ヶ月のセッションを経て、セラピストと「ハロー、ハロー」と歌いながら笑い

音楽にかかる「なぜ？」 に遭遇した出来事

二つ目は、「なぜ？」



和歌山大学教育学部
教授 菅 道子



の出来事です。大学卒業後、埼玉県で中学校音楽科の教員となり、同僚や生徒さんに恵まれ、充実した日々を過ごしていくました。とはいっても、実際に教壇にたつてみると

力は、その対象とするものを持て多角的に捉え、相対化して現在を見直すことができる点にあります。

音楽は「教育音の音楽文化とこんな特殊な世界でそこで「なぜ、日かけ離れているのか。」という根本いが沸々と湧いてでした。何か答えの手がかりになるものを得たいと仕事をやめ、御茶ノ水女子大学大学院で教育学（音楽教科にかかる教育史研究）を研究することになりました。自然科学の研究に比べれば、大変地味な世界だと思います。けれども、歴史研究の魅

な方法として絶対音感教育が生まれ、これを小学校でも試すようになります。ところが軍部が聴覚訓練として敵機や潜水艦の音の聞き分けに利用できると考へ、学校では実際に敵機の音を録音してレコードを聞き分ける授業をしたり、小学生を潜水艦に乗せて訓練を行つていたりしたのです。今思えば、非科学的ですし、不幸な音楽教育の歴史です。教育に限らずすべての事象は、不易なる価値と政治的・社会的状況の中で生まれる特有の価値とが付加されていきます。その時代に入り込んでいては俯瞰できないからこそ、歴史的に物事をみる研究は意味があると思うのです。現在私は、学生とともに教育・研究

校への温かいご支援をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

学校創立九七年目になり、本年度は、かつてないほどの高倍率の入試を乗り越えてきた三二六名の新入生に対して、入学式では、基礎基本の重要性に触れ、不確実な社会変化が続くであろう困難に、粘り強く突き進む強い意志を持つてほしいとエールを送りました。ま

や同窓の皆様からいただ
く温かい言葉を励みとし
て、まもなくの百周年を
莊厳して参る所存です。
今後とも、皆様のご理解
ご支援を賜りますようお
願い申し上げます。

継続こそ力

校長
鈴木

雅士



「生省結案…

顧問
清水
優

豊岡高校剣道部は、その伝統を誇れる素晴らしい部活動です。現在多くの先輩方が、各界で活躍されています。地域の指導者として、剣道を続けていたる方もたくさんおられます。着任して六年目、今年はじめて、男女共五人の部員が揃い団体戦に臨むことができました。その間「時を守り（朝七時より）場を清め（清掃）礼を正す（稽古

に臨む」を続けてきました。少しずつ部員たちの剣道との向き合い方も真剣になってきたように感じます。先日、卒業生の集まりに出席しましたが、彼らは一様に「続けが、彼らは一様に「続け良かつた」と言つてくれました。

訪問活動活動部（第8回） 剣道部

平日の放課後の部活指導は難しい状況です。そこで土曜日には阿須の運動公園で走ることから始め、剣道で必要な稽古を総合的、集中的におこなっています。ただ剣道部に関して言えば、個々に自分 の課題は解っているので



れました。そして仲が良い。また、仕事に対する意識も高く夢が語れる楽しみな社会人になつてきました。豊岡高校は単位制の進学校として、今年五期生を迎えるました。日常の学習活動にも力が入つてきました、私自身、今後とも豊岡高校剣道部に対するご支援を宜しくお願ひいたします。

平成29年3月の進路状況 ～MARCH・国立大学合格～

単位制二期生も最後まで粘り強く頑張り、各大学が合格者の人数を絞り込む中、難関大学と言われるMARCH（明治・青山・立教・中央・法政）のすべてに合格者を出すことができました。四年制大学の合格者数は、昨年並みの292名です。また短大26名、専門学校62名、就職7名（公務員3名を含む）と進路を決め、それぞれの夢に向かい羽ばたいていきました。

また、浪人生では、国立の電気通信大学に合格し、単位制第一号の国立大学の合格者を出すことができました。

この度、歴史ある豊岡高校の同窓会員になれたことをたいへん光栄に思います。同窓会員一年生の私たちですが、どうぞよろしくお願ひ致します。

豊岡高校で過ごした三年間を振り返ると、様々な思い出が蘇ります。学生の本分である勉強はもちろん、部活や生徒会活動にも真剣に取り組みました。三年間を過ごしていく中で、友人や仲間と過ごす時間がかけがえのないものであると感じました。また、何事も一所懸命に取り組むことの大切さや、仲間と協力してお互いに助け合うこ

新同窓会員あいさつ 「豊高で過ごした三年間」

岡田 小夏
(平29高卒)



東京オリンピックを目指して

佐藤 拳太郎
(平25高卒)



電気通信大学合格

北風 広匡
(平28高卒)



した。今後、更なる活躍が出来るように努力致します。

精神的にしんどいと感じることもありましたが、先生方の計らいで定期的に他の浪人生と情報を共有したり励ましあうこと

ができ、それによつて「次こそは合格する！」

という意思を持ち続けることが出来たので、なんとか乗り切ることが出来ました。

はじめまして。富士通の佐藤拳太郎です。私は昨年にブライダルで開催されたりオデジヤネイロ五輪に日本代表として参加しました。しかし、リレーチームの補欠枠での参加だったため今大会での出番はなく悔しい思いをしました。この悔しさを忘れずに2020年の東京五輪では選手として出場できるように努力してまいりますので応援を宜しくお願ひ致します。

激励金をありがとうございました。頂いたお金は更に自分を高めるために使用させていただきま

した。

私は新校の一期生として国公立大学を志望していましたが、現役での合格は叶わず一年浪人をして国立の電気通信大学に入学しました。現役生の頃は友達と毎日のように自習室に通つて勉強していましたが、受験勉強の開始時期が遅く、試験の対策が間に合いませんでした。

現在、私はエンジニアになるため大学で情報や理工学の基礎を学んでいます。大学生活は課題やレポート等で忙しいですが、自分がずっと望んでいた進路なので毎日、充実感を感じることができます。また、大学には多種多様なバックグラウンドを持つた人達がいるので、そのような人達とのコミュニケーションを通して自分の視野を広げていきたいと思っています。

浪人中は基本的には自宅でひとり勉強していたため、気が緩んできたり、

(支出)			(単位:円)
科 目	金 額	摘 要	
1 会議費	10,000	会議費	
2 事務費	316,435	第9号会報・封筒印刷代・送料	
3 予備費	0		
合 計	326,435		

上記のとおり平成28年度の決算報告をいたします。

平成29年6月15日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博
上記決算を監査した結果、正確にして相違ないものと認めます。

平成29年5月29日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 長谷部 安
埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 西澤昇

3 平成29年度事業計画 (案)

(1) 会議等

○常任理事会 平成29年6月15日

(2) 同窓会報の発行 第10号

第10号 平成29年9月1日発行予定

(3) 文化祭参加 平成29年9月2日、3日

(4) 百周年記念誌の発行準備

(5) 同窓会入会式説明 平成30年3月9日予定

(6) 卒業生全員に卒業証書ケース贈呈

(7) 第68回卒業式出席 平成30年3月10日予定

(8) 賛助金の受付

・金額：一口 1,000円

・方法：ゆうちょ銀行に開設した口座に振込
名義「埼玉県立豊岡高等学校同窓会」

4 平成29年度予算 (案)

(1) 一般会計の部 (普通預金)

(収入)

(単位:円)

科 目	予算額	摘 要
1 会 費	3,060,000	10,000円×306人(29年度卒業生)
2 賛助金	100,000	1,000円×100口
3 繰入金	0	
4 雑 入	16	預金利子
5 繰越金	4,727,984	前年度から繰越
合 計	7,888,000	

(支出)

(単位:円)

科 目	予算額	摘 要
1 会議費	250,000	常任理事会経費等
2 慶弔費	100,000	慶弔費
3 事務費	100,000	消耗品購入費
4 卒業生費	150,000	卒業証書ケース代
5 激励費	500,000	大会参加激励費等
6 講師謝礼費	50,000	講演講師謝礼
7 積立金	4,000,000	
8 支援費	0	
9 周年行事費	500,000	創立100周年準備

10 繰出金	500,000	特別会計の部へ繰出
11 予備費	1,738,000	
合 計	7,888,000	

上記のとおり提案いたします。

平成29年6月15日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

(2) 一般会計の部 (定額預金)

(収入) (単位:円)

科 目	予算額	摘 要
1 繰越金	17,037,448	前年度から繰越
2 積立金	4,000,000	一般会計(普通預金)から繰入
3 預金利子	552	預金利子
合 計	21,038,000	

(支出) (単位:円)

科 目	金 額	摘 要
繰出金	0	
合 計	0	

上記のとおり提案いたします。

平成29年6月15日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

(3) 特別会計の部

(収入) (単位:円)

科 目	予算額	摘 要
1 繰入金	500,000	一般会計の部繰出金より
2 預金利子	892	預金利子
3 繰越金	224,108	前年度からの繰越
合 計	725,000	

(支出) (単位:円)

科 目	金 額	摘 要
1 会議費	50,000	編集委員会会議費
2 事務費	500,000	会報・封筒印刷・送料
3 予備費	175,000	
合 計	725,000	

上記のとおり提案いたします。

平成29年6月15日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

5 その他



平成28年度卒業記念品として校舎壁面(学校名の右側)に校章が設置されました

平成29年度 常任理事会報告

過ぐる平成29年6月15日、「埼玉県立豊岡高等学校同窓会」平成29年度常任理事会を開催、無事終了いたしましたのでその概要をお伝えします。

議 事

1 平成28年度事業報告

(1) 会議等

○常任理事会 平成28年6月7日

(2) 同窓会報の発行

第9号 平成28年9月1日発行

(3) 文化祭参加 平成28年9月3日・4日

(4) 同窓会入会式説明 平成29年3月10日

(5) 卒業生全員に卒業証書ケース贈呈

(6) 第69回卒業式 平成29年3月11日

(7) 関東・全国大会出場選手の激励

・関東陸上競技選手権大会出場

・リオデジャネイロオリンピック出場

(平成24年度卒業生)

・バトントワーリング関東大会出場

・関東高校選抜新人陸上競技選手権大会出場

(8) 同窓会会報賛助金の受付

2 平成28年度決算報告及び監査報告

自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日

(1) 一般会計の部(飯能信用金庫 入間支店 普通預金)

収入済額 支出済額 残額(翌年度へ繰越)

5,621,048円 - 893,064円 = 4,727,984円

(収入)

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 会 費	3,120,000	10,000円×312人(28年度卒業生)
2 賛助金	201,000	1,000円×201口(延べ97人)
3 繰入金	0	
4 雑 入	16	預金利子
5 繰越金	2,300,032	前年度から繰越
合 計	5,621,048	

(支出)

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 会議費	126,134	常任理事会経費等
2 慶弔費	0	
3 事務費	12,562	郵券購入・振込手数料・用紙印字代
4 卒業生費	104,368	卒業証書ケース代
5 激励費	250,000	関東大会・全国大会等出場
6 講師謝礼費	0	
7 積立金	0	

8 支援費	0	
9 周年行事費	0	
10 繰出金	400,000	特別会計の部へ繰出
11 予備費	0	
合 計	893,064	

上記のとおり平成28年度の決算報告をいたします。

平成29年6月15日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博
上記決算を監査した結果、正確にして相違ないものと認めます。

平成29年5月29日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 長谷部 安
埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 西澤 昇

(2) 一般会計の部(定期預金)

収入済額 支出済額 残額(翌年度へ繰越)

17,037,448円 - 0円 = 17,037,448円

(収入) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 繰越金	17,034,113	前年度から繰越
2 積立金	0	
3 預金利子	3,335	預金利子
合 計	17,037,448	

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
繰出金	0	
合 計	0	

上記のとおり平成28年度の決算報告をいたします。

平成29年6月15日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博
上記決算を監査した結果、正確にして相違ないものと認めます。

平成29年5月29日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 長谷部 安
埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 西澤 昇

(3) 特別会計の部(いるま農協 東金子支店 普通預金)

収入済額 支出済額 残額(翌年度へ繰越)

550,543円 - 326,435円 = 224,108円

(収入) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 繰入金	400,000	一般会計の部繰出金より
2 預金利子	3	預金利子
3 繰越金	150,540	前年度からの繰越
合 計	550,543	

事務局だより

創立百周年記念事業の実行委員会が7月20日発足しました。委員は、学校・PTA・学校後援会・同窓会の各代表から組織されます。この日、実行委員長に同窓生（昭52高卒）の上原みゆき元PTA・後援会会长、副実行委員長に鈴木雅士校長、亀野妙子PTA・後援会会长、木下博同窓会会長が選出されました。

実行委員会は、式典・記念誌・祝賀会・記念整備事業の四つの部会からなります。これによつて、記念事業もさらに具体化

また、百周年に向け校内に同窓会室ができました。3号館手前の渡り廊下脇の空き部屋を学校のご好意により使わせて頂けることになりました。



賛助金へのご協力
ありがとうございます。

(日) に豊高祭が開催されます。3号館1階図書室にて、豊高の歴史の展示を行っています。古い「豊高新聞」や在学中にみんなで作った「ゆたか」(現在68号)や、懐かしい写真の展示をしています。会報編集委員も詰めています。百周年の記録のために皆様お持ちの豊高時代の写真や資料の寄贈等頂けると幸いです。当日は在校生の受付に「卒業生です」と伝えパンフレットをもらつて下さい。

文化祭に
お越し下さい

8組		7組		6組		5組		4組		3組		2組		1組		平成28年度 クラス代表一覧
吉川	原優	森田	久慈	◎大久保	◎石崎	栗山	岡崎	高橋	小澤	増田	土金	俊輔	久利	加藤航	大戸健人	片柳智也
麻里奈	一郷	友克	涉	陸	郁未	まどか	未	汰	梓	廉	希	斗	悠	航	希	也

▼編集委員は毎月1回
仕事が終わってから、
編集会議のために学校
に集まります。「継続
は力なり」と思い、号
を重ねてきました。微
力ながら、母校を応援
したいと思います。ち
なみに、私は高校時代
文芸部でした。文芸部
の後輩、編集を手伝つ
て頂けませんか。(大)
▼在職当時の元校長、
成瀬英二氏から豊高改
革の熱い思いを承け、
本編集委が発足したの
が平成21年6月。烏兎
忽忽の8年が経過した。
本号を10号記念と銘
打った訳だが、果して
小紙発刊の経緯とその
目的(5頁参照)は活
かされてきたのだろう
か。創立百周年を目前
に、学校応援団として
の再出発を誓う。(あ)

▼編集委員は毎月1回
仕事が終わってから、
編集会議のために学校
に集まります。「継続
は力なり」と思い、号
を重ねてきました。微
力ながら、母校を応援
したいと思います。ち
なみに、私は高校時代
文芸部でした。文芸部
の後輩、編集を手伝つ
て頂けませんか。（大）
▼在職当時の元校長、
成瀬英二氏から豊高改
革の熱い思いを承け、
本編集委が発足したの
が平成21年6月。烏鬼
忽忽の8年が経過した。
本号を10号記念と銘
打つた訳だが、果して
小紙発刊の経緯とその
目的（5頁参照）は活
かされてきたのだろう
か。創立百周年を目前
に、学校応援団として
の再出発を誓う。（あ）